



伊豆の国市立韮山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく押し たくましく生活する」

韮中だより

住所:伊豆の国市韮山393
電話番号: 055-949-1061
令和元年11月25日発行
第39号

「やってみる」ことで何かが変わっていく！

韮中は今年度からオリンピック・パラリンピック教育推進校となりました。その活動の一つとして、車いすバスケットで1992年バルセロナから2004年アテネまで、4大会連続パラリンピックに出場されたパラリンピアン神保康広さんを招聘し、11/22(金)に講演会を開催しました。

神保さんの車いすバスケットデモンストレーションあり、子供たち代表による車いすバスケットの試合あり、先生たちの参戦もあり、そして、神保さんの講話ありと、盛りだくさんの内容で、本当にあっという間の90分間でした。「障害のある、ないなんて関係なく、みんなで車いすバスケットをやるのが楽しい」「『やってみるここと一番大事なんだ』と神保さんを見ていてすごく実感できた」などと、子供たちはたくさんのお話を学び、勇気をもらい、笑顔いっぱい講演会を楽しんでいました。神保さんは、私たちにたくさんのお話を残してくださいました。

○自分の不注意により、バイクの事故で治らない怪我をしてしまった。親に申し訳ないことをしてしまった。人はいつそうなるか誰にも分からない。健康は当たり前ではない。五体満足は幸せなことだ。

○事故で下半身が全く動かなくなってしまった。そのことで1年半引きこもりになってしまった。そのとき、励ましてくれる友達があった。そして、車いすバスケットに誘ってくれた。そこから「知ることの大切さ」を痛感した。失敗を怖がらず、笑われることが恥ずかしいと思わないで、行動「やってみるここと」が一番大事だ。

○ミラー(鏡)の法則を教わって実行した。(前向きな言葉と行動)

○一人の人間として生きていく中では障害も何も関係ない。

○人生で学んだことは「楽しいことを見つけてやってみるここと」「知識や経験は人生において宝」ということである。

○本当に好きなことを突き詰めていくと、向こうから楽しいこことやってくる。

神保さんは現在、車いすバスケット普及のために精力的に活動しながら、イギリス代表のスタッフとしても活躍されています。人生は紆余曲折、様々な苦難が誰にも訪れます。そんなときに神保さんからいただいた言葉が必ず、自分自身を前に押し出してくれるはずです。神保先生を見て「自分も絶対にやれる、頑張れる」と、会場にいたみんなが思ったのではないのでしょうか。



ホールの先生方、必死ですわ。

自治的な学級作りは「話し合い活動」から

11/13(水)に田方地区の研修会があり、1の3で齋藤先生が特別活動の授業を行いました。田方地区小中学校から多く先生方の参観があり、子供たちも少し緊張気味でしたが、授業が始まると司会者を中心に「学級会」が円滑に進められました。「自分たちが伸ばしたい力」について行動、時間、学習で具体的にどうしていくのかを話し合っていました。子供たちなりに学級を落ち着いたあるより高め合う集団にしたいという願いを持っています。班で話し合ったり、自分の意見を述べたりと参画している子供たちの姿には「自分たちの学級作りは自分たちの手で」という意志を感じました。



全力で伝えます！～「葦中生の主張」～

2年前期執行委員の布施さんの選挙公約が「葦中生の主張」という形で実現しました。V6と書いたTシャツを着て司会者として奮闘している布施さんはとても輝いていました。2年、3年の発表者が「私には言いたいことがある！」と2・3階通路窓から叫ぶと、下にいる観客から「なあーに？」と声を張り上げながら、真剣に主張している姿が素晴らしかったです。友達や先生の感謝の言葉あり、自己表明ありと、心が高鳴っていくのが分かります。良い企画をしてくれた生徒会執行部に「ありがとう」ですね。



地域のためにできること～反射炉清掃～



第2回反射炉清掃に有志を募りました。そして、11/17(日)、地域の皆さんと一緒に世界遺産の反射炉清掃を行いました。参加した子供たちは草取りやつるの除去、草や木々の回収作業などを黙々と行っていました。地域の皆さんに「ありがとう」と言われるとやりがいも倍増しました。ふるさとの財産である場所をこれからも地域住民の一人として中学生を関わらせていきたいです。

保護者の方からのご意見・感想
()年()組() (生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。